

中学生の皆様と保護者の方々へ

山形県立鶴岡工業高等学校  
校長 百瀬 克浩

## 中学生の鶴工体験入学について

日頃、本校教育につきましては、多大な御協力を賜り深く感謝申し上げます。  
さて、例年、中学校3年生を対象とした見学会を実施しておりますが、本年も体験学習を中心とした体験入学を下記の要領で実施します。  
つきましては、皆様の参加を心よりお待ちしております。

## 記

1. 目的 (1) 専門学科の体験学習を通して工業高校（本校）への興味・関心を高め、理解を深めていただく。  
(2) 学校、学科の進路選択を行う際の参考にしてください。

2. 期 日 令和2年9月22日(火) 秋分の日

## 3. 日 程

生徒日程						保護者・中学校教員日程							
午前の部			午後の部			午前の部			午後の部				
8:30	～	8:50	誘導・受付	13:10	～	13:30	8:30	～	8:50	誘導・受付	13:10	～	13:30
8:50	～	9:40	①開会式・各科紹介(50分)	13:30	～	14:20	8:50	～	9:40	①開会式・各科紹介(50分)	13:30	～	14:20
									休憩(10分)				
9:40	～	10:00	休憩と生徒移動(20分)	14:20	～	14:40	9:50	～	10:30	②教育懇談会(40分)	14:30	～	15:10
10:00	～	11:30	③体験実習(90分)	14:40	～	16:10	10:30	～	10:50	保護者移動	15:10	～	15:30
11:30	～	11:40	休憩とアンケート記入	16:10	～	16:20	10:50	～	11:40	④体験実習・校舎見学(50分)	15:30	～	16:20
11:40	～	12:00	⑤工場棟見学(20分)	16:20	～	16:40	11:40	～	11:50	アンケート記入・解散	16:20	～	16:30
			解散										

4. 持参品 内ズック、筆記用具、タオル、飲物（熱中症予防）。  
服装は中学校指定の体育着。

各コースで必要な持参品

1 Aコース（機械科 アルミ鋳造コース）

汚れてもよい長袖・長ズボンの服装（運動着など）・外履き用の運動靴。

## 5. 申し込み方法と締め切り

- (1) 午前・または午後のどちらの日程を希望するか選択してください。
- (2) 別紙1『体験学習コース選択用資料』を読み、体験学習を希望するコース番号を第1希望から第3希望まで選択してください。
- (3) 資料2『実習棟見学コース選択用資料』を読み、見学を希望するコースを1つ選択してください。
- (4) 以下の①～③のいずれかの方法により、申し込みをはじめてください。
  - ① 右記のURコード(右図)を読み取り、申し込みを行う。



- ② 以下のURLを入力し、申し込みを行う。

<https://forms.gle/kbHDHcYjr98oinse8>

- ③ 上記の①または②の方法での申し込みを行う手段がない場合は、担当へ直接電話または、メールで問い合わせを行ってください。

山形県立鶴岡工業高等学校 教務部  
〒997-0036 鶴岡市家中新町8-1  
TEL 0235-22-5505 (代表)  
25-4209 (FAX)  
担当: 殿塚 治  
E-mail: [stonozukao@pref-yamagata.ed.jp](mailto:stonozukao@pref-yamagata.ed.jp)

- (5) 締め切りは、**8月28日(金) 12:00 必着**でお願いします。
- (6) 申し込みの際に教えていただきましたメールアドレスへ、体験コースの決定やその他変更などの連絡を送信いたします。9月1日(火)頃を目途での送信予定ですが、届かない場合は担当へ直接問い合わせを行ってください。

## 6. 交通手段について

- (1) 自転車で来校される場合は、本校駐輪場を利用してください。(鶴岡公園には駐輪しないでください。)
- (2) 駐車場につきましては、本校駐車場は狭く、担当職員の配置が難しいことから使用は考えておりません。なるべく公共の交通機関をご利用ください。なお、公園周辺の路上駐車はくれぐれもおやめください。

## コース選択用資料（鶴工体験入学）

## 1. 体験学習コースの選択について

下表を参考に体験テーマを選択し、それについての体験学習を行います。（約90分）  
コース番号を第3希望まで必ず書いてください。

体験コース	学科名	テーマ名	体験内容
1 A	機械科 (機械)	フルモールド鋳造法によるアルミ鋳造体験	発泡スチロールで作った様々な形を砂の中に埋め、そこに、溶かしたアルミニウムを流し込むと、発泡スチロールで作った形が消失し、代わりにアルミニウムの形が出来る鋳造体験をします。 ※体験者は汚れてもよい長袖・長ズボンの服装（運動着など）・外履き用の運動靴を持参すること。 安全確保のため服装が準備できなければ体験できません。
1 B		3次元CADによるコンピュータ製図	企業で使用されているCAD（コンピュータ製図ソフト）を使用し、V形ブロックをコンピュータで立体的に描き、機械加工用の図面を製作します。
2	電気電子科 (電電)	エレクトロニクスとエネルギー技術の体験	「簡単な電子工作」や「簡単な電気回路（電球の点灯回路）」など、実際に電気電子科で取り組む実習を体験します。
3	情報通信科 (情報)	やさしいプログラムの作成	簡単なプログラムの作成で、音声や画像を動かします。
4	建築科 (建築)	住宅外観模型の製作	スチレンボードに印刷されている、住宅の各外観パーツをカッターで切り、住宅模型を製作し、空間をデザインする楽しさを学びます。
5	環境化学科 (環境)	金属メッキの体験をしてキーホルダーを製作してみよう（ニッケルメッキ実験）	ニッケルメッキ液に一部加工をした銅板を入れ、電流を流すことにより銅板にニッケルメッキ加工をしてオリジナルキーホルダーを製作します。

## 2. 実習棟見学コースの選択について

下表を参考に見学したいコースを1つ選択し、その科の実習棟を見学します。(約20分)

見学コース	学科名	学習内容
機械	機械科	機械はどんな材料で部品が作られているのか？どんなメカニズムで動いているのか？これらの基本的な知識を学習し、機械のデザイン（設計）と加工の基礎的技術を身につけ、実践的な技術者を目指します。
電電	電気電子科	私たちの生活に欠かすことのできない電気。その電気を「つくる」、「おくる」、「つかう」ことを学習します。 すべての人々が安全に電気を使うことができるように、電気の知識、技術を習得し、社会で活躍できる電気技術者を目指します。また、通信やコンピュータ制御など、電気を利用する技術も学習します。
情報	情報通信科	コンピュータ、通信、制御のしくみや使い方について、基礎・基本から応用まで授業や実習を通して身につけます。主な授業科目として情報技術基礎、電気基礎、プログラミング技術、ハードウェア技術、通信技術、ネットワーク技術、コンピュータシステム技術、電子回路などを学習します。
建築	建築科	私たちの周囲を取り巻く、家・まち・地域・自然を快適な空間とするために、建築に関する基本的な知識と技術を学びます。また、実習ではそれらの知識をもとにして建築物を計画したり、実際に作るための技術を身につけるために体験的に学びます。
環境	環境化学科	化学分野の学習を柱として、環境分析、再生可能エネルギー、リサイクルなどの環境化学の知識と技術を身につけ、製造から廃棄まで総合的に環境に配慮したものづくりのできる技術者をめざします。